

刺巻の水ばしょう群生地 魅力アップに向け振興策を提案！

～「第2回刺巻地域づくり検討会」の開催～

国道46号刺巻地区の道路改良計画を契機に、現場に隣接する観光地「水ばしょう群生地」を中心とした地域において、一層の観光・地域振興が図られるように、有識者、地元関係者による「第2回刺巻地域づくり検討会」を開催いたします。

記

1. 日 時：平成29年2月24日(金) 10時30分～
2. 場 所：仙北市役所 田沢湖庁舎 3F 第1会議室
(秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30)
3. 内 容：別紙1のとおり
4. 検討会メンバー：別紙2のとおり

※傍聴・取材・カメラ撮りは全て可能です。

記者発表先：秋田県政記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
TEL 018-823-4167(代) たぐち かずひろ
副所長(道路担当) 田口 和弘 (内線205)

秋田県 仙北市
TEL 0187-43-2294 さとう りゆうき
建設部 建設課 建設課長 佐藤 龍喜

第2回刺巻地域づくり検討会 概要説明

■刺巻地域づくり方針 基本的な考え方(案)

地域づくりを進めるための方針や、実施にあたっての体制について検討します。

◆刺巻地域が抱える課題

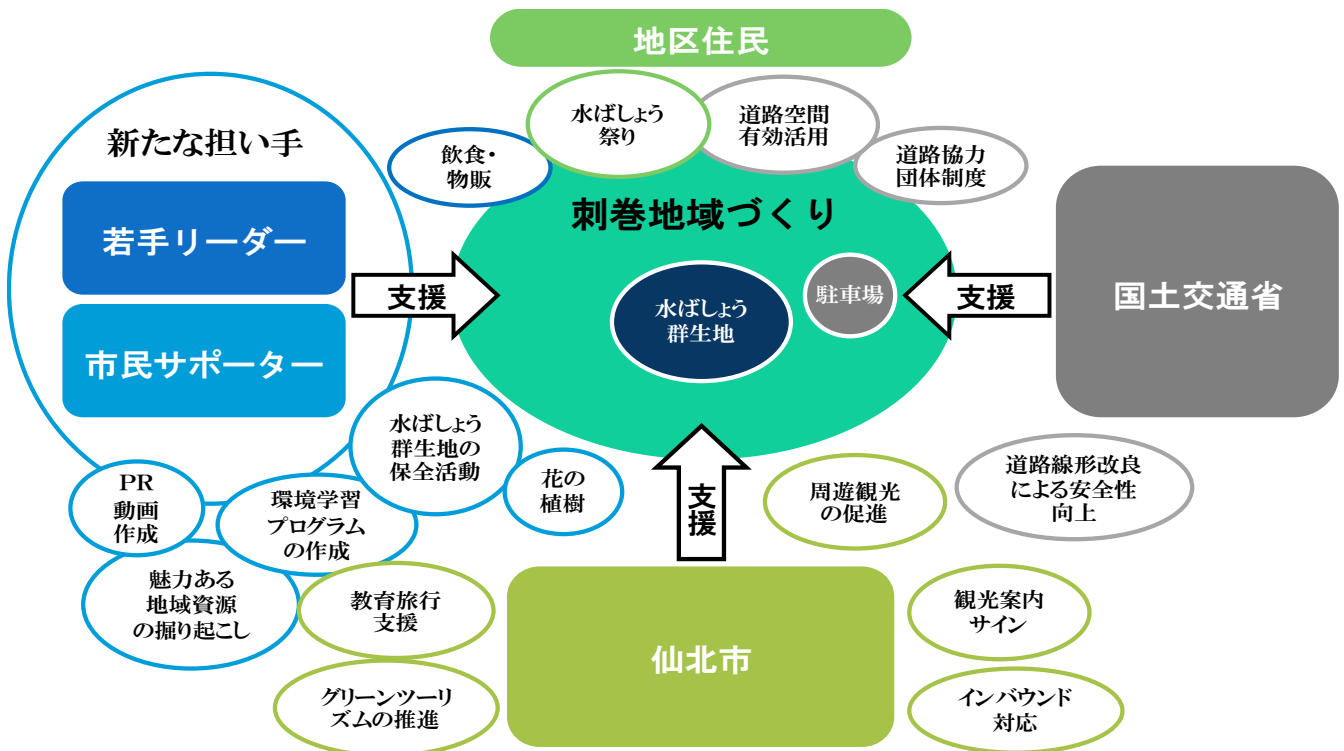
- 居住者の減少(現在約180名)や高齢化が進み、これまで地区住民が続けてきた「水ばしょう祭り」を守り、継承する新たな担い手が必要。
- 「水ばしょう群生地」などの優れた地域資源を活用した環境教育などの新たな取り組みが必要
- 新たな取り組みを実践して行くためには、刺巻をサポートする仙北市民の支援が必要



◆『刺巻地域づくり方針』の基本的な考え方

水ばしょう群生地をはじめとする自然環境や景観を活用し、年間を通して広域から多くの人々が訪れる地域としていくため、駐車場の活用を契機とした、刺巻地区の地域活性化に向けた各種取組や方向性を示す。

《概念図》



■第1回検討会での検討課題(意見)

第1回検討会意見に基づき、地域づくりに向けた実施内容の検討を行います。

案内・誘導サイン

- 周辺への誘導や学習用情報等のサイン
- 周辺施設での情報連携
- 道路予告標識

道路空間の活用可能性

- 上り線側駐車場の利活用
- 飲食施設の出店
- 地域の生きがい創出

周辺資源の活用可能性

- 環境学習活動
- 秋田駒ヶ岳の眺望
- 周辺の整備

観光広報・PR

- 市全体の観光情報発信
- 本検討会内容の広報
- PRの方法

国道46号線形改良及び駐車場の空間構成

- 道路景観の向上
- 地域活動拠点としての機能維持



第2回 刺巻地域づくり検討会 検討会メンバー

	役 職	氏 名	備 考
委 員	秋田大学 教育文化学部地域文化学科 教授	いしざわ まき 石沢 真貴	
委 員	秋田工業高等専門学校 名誉教授	おりた じんすけ 折田 仁典	座長
委 員	料理研究家、「ガーデンカフェ&テリカkimoto」オーナー	きもと ちえこ 木元 千恵子	
委 員	仙北市 副市長	くらはし のりお 倉橋 典夫	
委 員	刺巻町内会長、 NPO法人 秋田岩手横軸連携交流会 専務理事 事務局長	さとう よしあき 佐藤 善昭	
委 員	仙北市商工会青年部 部長、田沢湖観光協会会員	しまかわ しょう 島川 祥	
委 員	国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所長	わたなべ まさよし 渡邊 政義	

(50音順、敬称略)